



東串良町立池之原小学校 学校だより 令和5年度
はばたけ！ けやきっ子 10月17日新


ちよつとの無理 ～ 成功の花束は 手の届くちよつと先～
 校長 上葉 智明

秋の夜や あまへ泣き居る どこかの子 杉田久女

10月。別名神無月。「かみなづき」の由来は、諸神が出雲大社に集まり、諸国の神々が留守になることから、「神なき月」が転訛したものとされています。別に「神嘗月（かみなめづき）」や「神の月」が転訛したという説もあります。その他、初霜月、小春、孟冬、時雨月とも称されます。なお、冒頭の俳句の作者、杉田久女（ひさじょ）は、鹿児島県出身の俳人です（1890～1946）。

物事はいつも順調にいくとは限りません。楽な時ばかりではなく、むしろ困難な時の方が多いかもしれないことは、保護者の皆様も感じられていることと思います。そのような、困難な時に逃げずに立ち向かうことにより大きく成長したと実感された方々も少なくはないでしょう。子供たちにも言えると思います。子供に限らず、楽をしようと思えば、どこまでも楽ができます。しかし、楽な場面だけに身を置いている子供には、大きな成長は望めないのではないのでしょうか。

そこで、子供の成長を促すために「ちよつとの無理」をさせることが必要だと思えます。「ちよつとの無理」とは、現状のその少し上、少し先を目指した努力をさせることです。「あまりにも大きな無理」は子供のやる気を削ぎ、たとえ達成したとしても、成就感よりも疲労感を強くたせてしまう恐れがあります。逆に、目標が簡単すぎても達成感は味わえません。ここで、一般的な植物の育て方の一例を紹介します。子育てに似ていることに気付かれることと思います。



植物は、水や肥料を必要以上に与えすぎると、根腐れしたり、根が肥料焼けしてしまったりする。いつも水分で満たされていると、自分から水を欲しないので根を伸ばそうとしなくなる。根が伸びなかつたり腐れてしまったりすると、生長しないどころか枯れてしまうことがある。

そこで、土がある程度乾いた状態にすることで、根が水を求めてしっかりと伸び、そのタイミングで水をたっぷり与えれば根はたくさん水を吸収する。また、肥料も根が伸びる少し先に施しておく、たいへん効果的である。

また、「幸運の女神は、成功の花束を手の届くちよつと先に置く」という言葉もあります。「ちよつと先まで手が届く」よう努力しなければ、何かを成し遂げたり何かを手に入れたりすることはできません。努力をすることで子供は人間として少しずつ成長し、一步一步大人に近づいていくものと思います。苦しいことから逃げ出さずくじけそうになってもあきらめないことだと思えます。そして、努力した成果を実感した時、子供は自身自身の成長を実感し、自己肯定感をもつことができるのです。

まずは、未来を担う大切な子供たちが、成長するための機会（チャンス）に出会うことが大切だと思えます。子供自身がその機会に偶然出会うことがあるかもしれませんが、保護者が意図的に出会わせてあげる必要があるかもしれません。そして、努力し続ける子供をいつも支え、応援し、励まし続けること。子供が目標を達成したときは、その結果以上に努力をいっぱい褒めてあげること。たとえ、目標が達成できなくとも、子供の心に寄り添い、その努力をしっかりと認めてあげることが大切だと思えます。

日新公いろはうた

下手ぞとて 我とゆるすな 稽古だに 積もらば ちりも 山とことのは

【大意】 自分自身が下手だと卑下して努力を怠ってはいけない。稽古を積みば少しずつ進歩して、遂には上手になれる。ちりも積もれば山となる例えもあるではないか。下手だからといって練習を怠けてはいけません。「ちりも積もれば山となる」あきらめず続けることで、上手になることができるのです。「継続は力なり」です。



第77回秋季大運動会
応援ありがとうございました

来賓の皆様は、子供たちの元気に湧きと競技や演技する姿をご覧いただけたことと思います。今後も、地域・家庭・学校が協力して、子供たちの健やかな成長が実現できるよう、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

10月1日(日)に、第77回秋季大運動会が開催されました。当日は暑さも和らぎ、全種目を無事に終えることができました。ご来場いただいた保護者・地域・ご来賓の皆様は、子供たちの元気に湧きと競技や演技する姿をご覧いただけたことと思います。今後も、地域・家庭・学校が協力して、子供たちの健やかな成長が実現できるよう、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



大切なお子さんの健康のために

今年度も後半に入りました。児童の健康や発育の実態を把握し、指導に役立てるため、2学期初めに身体計測・視力検査を実施しました。結果を児童に配付しましたので、保護者の皆様は、お子さんの健康や発育の状態を把握されていることと思います。ご不明な点やご心配な点がありましたら、お気軽に本校の久保田養護教諭にご相談ください。

なお、1学期の検診結果により治療を勧められているにもかかわらず、まだむし歯の治療が終わっていない児童が76名（治療率50%）います。治療が遅れると、それだけ病気が進行し、治療にかかる日数も増え送迎も大変になります。大切なお子さんの健康のためにも、一日も早い受診をお願いします。

今年度も後半に入りました。児童の健康や発育の実態を把握し、指導に役立てるため、2学期初めに身体計測・視力検査を実施しました。結果を児童に配付しましたので、保護者の皆様は、お子さんの健康や発育の状態を把握されていることと思います。ご不明な点やご心配な点がありましたら、お気軽に本校の久保田養護教諭にご相談ください。

なお、1学期の検診結果により治療を勧められているにもかかわらず、まだむし歯の治療が終わっていない児童が76名（治療率50%）います。治療が遅れると、それだけ病気が進行し、治療にかかる日数も増え送迎も大変になります。大切なお子さんの健康のためにも、一日も早い受診をお願いします。



全国学力・学習状況調査の結果から

国語では特に、与えられた条件に応じて文を書くこと、算数では特に、図形の領域等に課題が見られました。今後、授業改善や家庭学習の充実等により、学力の向上を図ります。

6年生を対象として4月に実施された全国学力・学習状況調査の本校の結果は、国語・算数ともに全国・県平均を下回る結果でした。本校の結果は、国語・算数ともに全国・県平均を下回る結果でした。今後、授業改善や家庭学習の充実等により、学力の向上を図ります。

なお、質問紙の結果から、全国・県平均に比べ、本校の6年生は将来の夢や目標をもっている児童がとて多

くことが分かりました。たいへん素晴らしいことです。児童がそれぞれの将来の夢や目標を達成するためにも、学力は必要不可欠です。学校と家庭が協力して、児童の学力の向上に取り組んでいきましょう。

レッツトライ4

池之原小特別支援教育コーディネーター
 わかば学級組担任 木佐貴 陽子 文責
 「からだの脳」は、五感（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚）から脳に入る刺激を繰り返すことで育ちます。なかでも最も大切な刺激は、「太陽のリズムに従う」生活です。

具体的には、太陽と共に目覚め、夜は太陽が沈んだら寝ついて、十分な睡眠を取ることを繰り返すことです。そうすれば自然に朝から空腹を感じて食事をバランスよく摂ることができ、筋肉を大きく動かして運動することができます。

「からだの脳」を生まれてから5年間でしっかりとつくるために大人が心がけることはただ一つ、とにかくまずは子どもをしっかりと早起きさせることです。太陽の光を毎朝繰り返し浴び、視覚を刺激することから、すべての脳育てが始まるそうです。「からだの脳」は、五感（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚）「おりこうさんの脳」や「こころの脳」を育てるためには、大人が子どもに提供する「生活」が鍵を握ります。

家庭の中では、毎日くり返し言葉が交わされ、決まった行動がおこなわれます。これが、子どもの「おりこうさんの脳」や「こころの脳」を育てる大切な刺激になります。つまり、一緒に暮らす大人自身の「物事のとらえ方」「発する言葉の内容」「子どもに見せる表情」「子どもとの遊び方」など、全ての関わりが子どもの脳の育ちに影響します。もちろん、毎日のことなのでいつも理想的な関わりばかり提供できる訳ではないのは当たり前ですが、大人がそれを「知っているか」「知らないか」、で大きく子どもの生活環境は違ってきますよね。

10・11月の主な行事

- 10月**
- 4日(水) 校内読書旬間 ～17日
 - 13日(金) 小中一貫教育研究会（柏原小）のため全学年4時間授業
 - 18日(水) 修学旅行（6年生）～19日
 - 20日(金) 秋の一日遠足（1～4年生）
休養措置日（6年生）
 - 21日(土) PTA主催けやきふれあいフェア
 - 23日(月) 教育相談旬間(希望者)～30日
- 11月**
- 1日(水) 地域が育む「かごしまの教育」県民週間～7日
小中音楽会（3年生）
 - 2日(木) PTA読み聞かせ
 - 11日(土) 土曜授業 避難訓練
 - 15日(水) 集団宿泊学習（5年生）～16日
 - 17日(金) 休養措置日（5年生）
 - 18日(土) メディアコントロールウィーク～24日
 - 22日(水) PTA理事会
 - 29日(水) 持久走大会 学級PTA